

今月の特集

TOPICS & 連載

★天体観測・撮影に役立つ
グッズ & アイデア
2021
★**有人宇宙飛行の60年**

☆好評連載 **星雲星団撮影入門**

☆巻頭グラビア「月のある絶景」

- ◆今月の星空 / 今月の天体観測 ◆アストロニュース
- ◆月のある絶景 ◆天文学コンサイス ◆読者の天体写真
- ◆観測ガイド 他

天文ガイドホームページ

<https://www.seibundo-shinkosha.net/tenmon/>

書籍のご案内

「はやぶさ2」のすべて



A4判・144頁 ISBN:978-4-416-62064-9

ミッション & メカニカル編

「はやぶさ2」の全貌を、豊富な写真と図版で紹介するグラフィカルな科学解説本。執筆陣は総勢45名のプロジェクトメンバー。

吉川 真【監修】
定価:3,080円(税込)

なぜか宇宙は



四六判・208頁 ISBN:978-4-416-62038-0

ちょうどいい

宇宙の物理法則は、生命にとって都合のいい世界になるよう調整されている? わかりやすい文章とイラストで、宇宙の奇跡を教える入門書。

松原 隆彦【著】
定価:1,760円(税込)

星座の起源



A5判・400頁 ISBN:978-4-416-52159-5

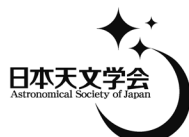
黄道十二宮などの星座はいつ、どのようにして生まれたのか? その起源となる古代エジプト、メソポタミアの星座を紹介した決定版書籍。

近藤 二郎【著】
定価:3,300円(税込)

誠文堂新光社

<https://www.seibundo-shinkosha.net/>
〒113-0033 東京都文京区本郷3-3-11 TEL.03-5800-5780

●お求めはお近くの書店、ネット書店、または……
<ブックサービス> 0120-29-9625



インターネット
天文学辞典
公益社団法人日本天文学会

天文・宇宙に関する 3,000 以上の用語を専門の研究者がわかり易く解説。登録不要・無料で、誰でも利用できる「進化する辞典」です。



MENU 天文学辞典 > 太陽系 > 惑星 > 火球

学習レベルで探す ▼ **火球**

小学生
中学生
高校生

五十音で探す ▼
五十音で探す ▼
カテゴリーで探す ▼
検索を見る ▼
動画を見る ▼

学習レベル 高

よみ方 かきゅう
英語 fireball
説明

流星のなかでも極めて明るいもの。流星と火球の境界にはさまざまな定義が採られてきたが、2017年に国際天文学連合のI委員会(流星、隕石、流星体)が、関連分野の基本用語の定義や解説を採択し公表した。そこでは100 kmの距離での明るさがマイナス4等より明るくなったものを火球と呼ぶこととしている。火球では、流星の流星の消滅点である高度80 kmよりも低高度まで流星現象が継続することもある。火球は通常の流星よりも大きな流星(数cmから数10 cm程度)が大気に入射したときに観測されるもので、爆発的な現象が現れたり地上で音が聞こえたりすることがある。落下物(隕石)として採取されることもある。

国際天文学連合のI委員会による流星天文学の用語の定義と解説:
https://www.iau.org/static/science/scientific_bodies/commissions/f1/meteordefinitions_approv

隕石落下の可能性あり 2020年7月2日...
観て見る 共有

2020年7月2日に東京上空に墜れた大火球。その軌道と軌道 (提供: KAGAYA)
https://youtu.be/Muk_xjDINov

関連画像

この天文辞典は、天体物理情報センター(東京大学)の流星体観測隊に準拠して作成された。お問い合わせ先: 流星辞典編集部(東京都文京区本郷3-3-11) (メールアドレス: nao@astro-dic.jp) (TEL: 03-5800-5780) (URL: <https://www.astro-dic.jp/>) (更新日時: 2020年12月14日 14:12:38 JST) (ID: 1092) (URL: <https://news.yahoo.co.jp/phenomena/>)

特長

- 急速な発展を続ける天文学分野の用語を随時更新し、最新の情報を掲載
- 豊富なカラー画像や動画を使用しわかりやすく解説
- 研究者向けの専門用語から小・中学生向けの基礎的な用語まで幅広く網羅
- 学習レベルやカテゴリー別に検索できるので教材作りにも役立つ

インターネット天文学辞典
<https://astro-dic.jp/>

